

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

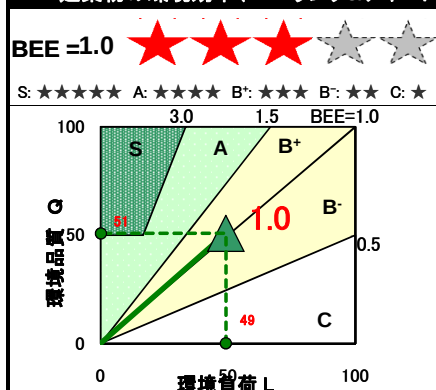
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社 白 鳩	階数	地上 4F
建設地	京都市伏見区竹田向代町21、29-1	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	50 人
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年9月 予定	評価の実施日	2011年3月18日
敷地面積	2,790 m ²	作成者	
建築面積	1,643 m ²	確認日	
延床面積	4,557 m ²	確認者	

外観パース等

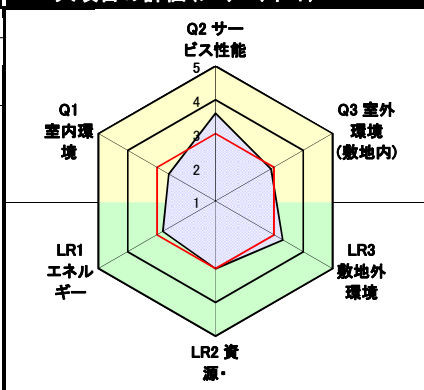
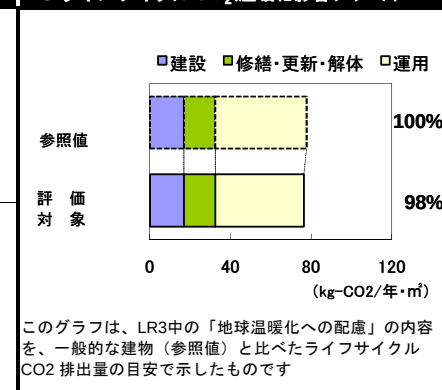
図を貼り付けるときは

シートの保護を解除してください

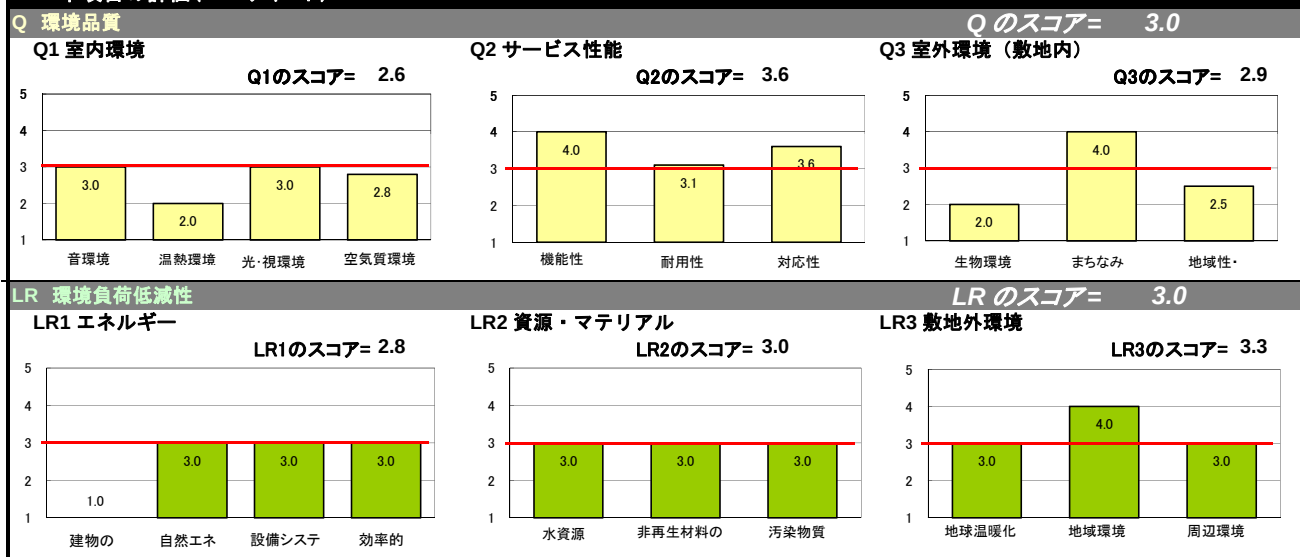
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合		その他
地球温暖化対策条例に基づき、環境に配慮した計画とした		注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
温熱環境に考慮する	OAフロア等によりレイアウト変更に対応できる長寿命性のある配管材を採用している	敷地空間をできる限り確保する
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
自然採光を主とし、照明器具をLEDを採用する高効率機器、器具の採用により省エネルギー化を図っている	有害物等を含まない材料を使用	空地を設けることにより、日照、通風を確保

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される